



六郷中だより

六郷中学校だより 第6号

令和 3年 7月 7日

発行・文責：校長 深澤裕治

<六中HP>



トイレ掃除の分担はすでに決まっています！

サルスベリやネムノキの花が所々に咲き始め、今学期も残すところあと2週間となりました。改めて今学期を振り返りますと、やはり新型コロナへの感染予防対策を考慮し続けてきた3ヶ月間だったと思います。幸い本校におきましては、新型コロナへの陽性者の発生はありませんでした。これはひとえにご家庭の皆様方に、日々の感染予防対策に対して、ご理解とご協力をいただいていたからこそと考えております。

1年以上毎日続けてきた健康チェックカードへの記入、入学式や部活動の大会等への保護者の皆さんの参加の制限、修学旅行や県内巡り等の校外行事の延期など、多くの制約や辛抱を生徒や保護者の皆様方にお願ひし協力をいただく中で、今日までの教育活動が積み重ねられてきています。そんな制限がある教育活動ですが、従来どおりの教育成果をあげられるよう、私たち教職員も生徒たちも前を向き、課題解決と創造の姿勢をもって、今まで以上に高い意識で取り組まなければなりません。

そこで、過日の峡南地区総合体育大会を数日後にひかえた生徒集会の折に、次のような話を生徒の皆さんにしましたのでご紹介いたします。

以前、校長先生がバスケットボール部の顧問をしていた時の県大会の閉会式でのお話です。すべての試合が終了した後の閉会式の終盤、いよいよ一日使用した会場の清掃分担が、担当の先生から学校ごとに割り振られます。アリーナや玄関、通路などの分担の中で、まず最初に割り振られたのがトイレの清掃分担です。一日の県大会の後ですので、会場にいるほぼすべての人たちが使用したであろうトイレ清掃です。できれば避けたいと思うかもしれませんが、担当の先生からこんな風に説明がなされます。

「トイレ掃除の分担はすでに試合結果で決まっています。」

皆さんはどんな割り振りがなされると思いますか？担当の先生から説明が続きます。

「トイレ掃除の分担は、優勝した中学校にお願いをします。」すぐさま呼ばれた中学校の生徒たちは大きな声で返事し、トイレ掃除の分担の確認があつという間に終わりました。さらに担当の先生から、会場全体への説明が続きます。「トイレ掃除の分担を優勝したチームが担当するのは、この会場にいるチームの中で最もふさわしく、トイレ掃除に最も値するのが、優勝したチームだからです。」

なるほどと、そのとき思いました。会場を一日借用しての県大会を終えた後の参加チームを代表してのトイレ掃除ですので、手を抜いて、いい加減に済ませてはならない大事な掃除場所です。だからこそ日々の練習の一つひとつを大切にしてきたチーム、技術や体力面だけではなく、精神力やチームワークそして何が大切なことなのかを的確に判断できる判断力など、練習を通して最も身につけてきたチームが優勝したのであれば、トイレ掃除が最もふさわしいチームとして、優勝したチームが分担するものなるほどと、そのとき実感しました。(後略)

部活動の大会ですので、当然一つでも多く勝ち進み、日頃の練習に対する評価が得られれば、とも思います。しかし、閉会式で一番学んだのはトイレ掃除を分担されなかったチームかもしれません。この閉会式でのトイレ掃除の分担が、人として、そして部活動のチームとして、一歩前進するきっかけになればと思い、大会数日前の生徒集会において、生徒たちにお話をしました。

